



水建下第 114 号
平成 19 年 4 月 25 日

国土交通省道路局長 様

氷川町長 浜田



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について(回答)

平成 19 年 4 月 2 日付け、国道企第 114 号で依頼があった件について、下記のとおり回答します。

記

■今後の道路政策や道路の整備・管理について

●重点化を進める上で特に優先度の高い政策

- ・熊本市と八代市を結ぶ幹線道路国道3号の早期整備が必要と考えられる。
- ・九州自動車道のインターチェンジ間の距離が長いため利用しにくい面がある。
P. A、バス停を利用したスマートインターチェンジの増設が必要と考えられる。
- ・九州内の産業振興、観光振興のため西回り自動車道の早期完成が必要と考えられる。

●効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

- ・市外から通勤するのに、駅に駐車場(パークアンドライド)があれば公共交通機関の利用が増え、市内の交通渋滞が緩和されると考えられる。

●その他、道路施策や道路の整備・管理全般に関する意見

- ・道路を延命するためにも維持管理は必要であるが、特に戦後架設された橋梁等の構造物について老朽化が進行している。計画的に早期補修を行い構造物の延命化を図ることが有効と考えられる。
- ・最近九州内にアジア地域から観光客が増加している。広域的な観光の連携が必要であり統一した道路標識、案内標識の外国語表示が必要と考えられる。